

燕市立粟生津小学校

教育目標 ○考える ○助け合う ○やりぬく

栗小だより

8月号 令和7年8月29日



学校ホームページ



学校メール

電話 0256-93-2446

FAX 0256-93-1701

7:30~18:20

1ヶ月あまりの夏休みが終わり、子どもたちが学校に戻ってきました。前日までは閑散としていた校舎にまるで命を吹き込まれたような活気がみなぎっています。やはり子どもがいてこそその学校ですね。

さて2学期は、6年生の親善陸上大会、4・5年生の自然体験教室、校内マラソン大会、さらに秋彩祭など行事が盛りだくさんです。充実した教育活動を行い、子ども一人一人の、そして学校・学級集団の成長を保護者・地域の皆様と共に見守りたいと思います。2学期もよろしくお願いいたします。

栗生津まつりステージ発表参加について。

校長 鈴木 孝幸

例年、上学年・下学年に分かれて参加してきた栗生津まつりのステージ発表ですが、今年度は高温のため参加を見合わせました。子どもの健康を最優先に考えた上での決断でしたが、この日に向けて練習してきた子どもたちを思うと非常に残念です。何らかの形で、皆様へお披露目する機会がとれたらと考えています。

この夏、初めて栗生津まつりに足を運び、「真夏の祭典」のステージを見ました。さらに、一週間後の吉田まつりでは、栗生津地区の山車巡行と「風雅」の踊りも見ました。これらのおまつりが、栗生津地区が一つにまとまるために、大きな役割を果たしていることを感じました。(山車保存会・親栄会をはじめとするスタッフの皆様、大変お疲れ様でした。)

栗生津小86名の子どもたちが将来、この栗生津で暮らしながら地域を担う人材になるのか、もっと広い世界で活躍するようになるのかはまだ分かりません。しかし、どこで暮らしてもこのふるさと栗生津への愛着はもちづづけて欲しいと願っています。おまつりステージへの出演や風鈴作りで地域の一員として栗生津まつりに参加すること、そして地域を盛り立てようと奮闘する運営スタッフの方々の背中を見ること、これらの体験は栗生津小の子どもたちにとってかけがえない財産になると考えます。

さて、このように例年行っているおまつりステージへの参加ですが、「教職員の働き方」の側面から課題があります。それは栗生津まつり当日が週休日に当たっているということです。

例年、多くの職員が当日の引率に携わってきましたが、これは職員の無償ボランティアによって成り立っています。これについて、当事者である栗生津小職員が不満を漏らしている訳ではありません。みんな、当日参加する子どもたちの安全確保に注意を払い、子どもたちの成長につながる意義のあるステージ発表になるよう、熱意と誠意をもって取り組んでいます。

しかし、学校をはじめ各業種で人手不足が危惧される今日、これからの社会を担う若者たちに「学校の先生」という仕事を選んでもらえるようになるため、私ども教職員は自身の働き方についても変えていかなければと考えます。

「教職員の働き方改革をあきらめるのか」それとも「粟生津まつりへの参加をあきらめるのか」の2者択一ではありません。粟生津小学校が掲げる地域との「共育」を実現する大切な場である粟生津まつりへの参加を今後も続けていくためにどうすればいいのかを考えたいのです。

そして、来年度以降の粟生津まつりの参加について、現時点では以下のように考えています。

【改革案】 粟生津まつりおまつりステージ当日（7月第3土曜日）を授業日とする。その振替休業日（7月第4火曜日）を設ける。
【当日の時程】 現段階での構想です。決定ではありません。 ○ 15：00までに登校（少し余裕をみて14：45になるかもしれません） ○ 15：00～15：45 1時間目 健康観察、事前指導・準備 ○ 15：55～16：40 2時間目 粟生津体育館前への移動・ステージ発表 ○ ステージ発表が終わり次第、粟生津体育館控え室で学年ごとに終会・解散
【職員の勤務】 学校職員は当日8：40～17：10までの勤務となります。この時間帯は学校への連絡等に対応できます。
【改革案を実施した場合にご家庭や子どもたちへ及ぶ影響】 ○ 「おまつりステージ発表」を授業として扱うため、当日参加しない場合は欠席扱いとなる。 ※ 地域運動クラブの各種大会と重なる時期でもあります。当日は欠席して大会出場を優先する、大会出場後遅刻してステージ発表に参加する、など家庭での相談のもと我が子にとって何を優先するのかの選択は様々あってよいと思います。 ○ 当日の登校時間帯が午後になる。 ※ これまで経験のない時間帯での登校となります。例年のおまつりステージのように保護者の皆様の送迎をお願いするのか、登校班の見守り体制を強化するのか、は今後検討していきます。

土曜日開催のおまつりステージを学校の授業として取り込むことは、粟生津小職員の働き方改革（勤務でない日の「ボランティア出勤」の解消）に大きく寄与します。

また、粟生津まつりを学校の教育課程・職員の正規の勤務に位置づけることで、粟生津まつりへの参加体験をより質の高い教育活動に高めたり、当日の安全確保をより強化したりすることができます。

その一方で、ご家庭や子どもたちへ上の表にあるような影響も及ぼします。

来年度の教育課程編成までにまだ少し時間はあります。保護者の皆様のご意見にも耳を傾けながら決めて行きたいと思います。

次年度以降の粟生津まつりの参加について、ご意見・感想、疑問点、懸念されることなどございましたら、右のQRコードよりアンケートフォームに入力していただけるとありがたいです。

QRコードは削除しました。